

平成28年度町政懇談会（中央公民館）会議録

- 〈実施日〉 平成28年5月20日（金）午後6時30分～9時30分  
〈場 所〉 中央公民館 大会議室  
〈町側出席者〉 深谷町長、米澤副町長  
米澤康成企画監、高橋道広企画監、吉田留美子企画監  
高橋賢秀企画監 古川端企画財政課長 志田生涯学習課長  
司会：高橋啓二 総務課長  
〈参加者数〉 40人

（町長の以下資料による事業説明）

- ・ 雫石町後期基本計画
- ・ 雫石町 まち・ひと・しごと創生戦略
- ・ 4地区別地域づくり計画
- ・ コミュニティライフしずくいし 事業構想案

《懇談》

**町民：**コミュニティライフしずくいしの概要を聞きました、上下水道の関係で当初予算1億2千万ほどが倍になり2億5千万になった、県の指導もあったようだが当初より道路も600mほど長く迂回することになった、これらの経過を教えてください。

もう一つ 生涯活躍のまち雫石版CCRCについて、予算について記載がないが、国からの補助金、交付金と行政側からの持ち出し、6ページに図面もあるが、金額が全く入っていないので、言える範囲内で教えてください。

**町長：**今の計画、町の整備分で当初計画では小岩井からの連絡道路については途中まで小岩井農牧の道路です。小岩井農牧と借りるための協定が済んでいます。

そこらから先の丸谷地の方から入る道路には一部民地があり、この民地についても借上げなければならない、当初計画したのは、詳細で出した金額ではなくて、それが1億1千200万でした。

その土地の北側に直線道路があり、一部砂利道です、この場所に入れる予定でした。設計の内容が変わってきた結果、施設配置が今のようにS字型になり200m位距離が長くなりました。開発許可の関係で、指導があり幅員等も広くなりました。それらによる金額の増です。

金額的には倍になったが、交付金が8千600万円位、起債を5千200万円位利用

するので、実際の町持ち出しは1億1千200万くらいの予定です。ただ、確定していないので、これからの判断になることもあります。

1期2期3期の概略工事費は、初年度は資金としてファンド、補助金、会社としての借入金で経営の予定です。現在概略の金額を出している状況です。

**町民：**素晴らしい企画だともうが、やり方の問題だと思います。1億2千万が上がったとあるのが、上がった分を、交付金などを使うからといって町民を説得するのは緻密ではない、率直に指摘をしたい。

日本版のCCRC、都会からの高齢者に移住をしてもらうこと、姥捨て山的な組織になるのではないかという意見もある、そこに他世代の若者たちが結集するような組織を熟慮に熟慮を重ねてやってほしい。

新潟や長野の他県では積極推進と聞いているので、経験をどう活かしていくのかも課題ではないのかと思います。町政に皆さんに対応をお願いします。

同時に東京に事務所（相談所）を作ったと聞いたが違いますか。

**町長：**移住センターがあり、そこに全国で7市町村がブースを作って、そこに雫石町も入っています。

**町民：**リスクを抱えるので、リスク管理をしっかりお願いしたい、契約のトラブルなども発生するかもしれない、机上ではうまくいっても、マンツーマンではトラブルになる時もある。

空き店舗の活用、中心市街地もシャッター通りになってきている、加えてしづく館の指定管理者の途中撤退はとても残念、フォローアップをお願いしたい。

雫石町の発展のためにはしっかりとしづく館のフォローをやってほしい、途中で指定管理者を放棄した（商工会）ということになるが、彼ら（商工会）は指定管理料の削減を一方向的に説明もなく通知された、との話も聞こえてくる、そこに信頼関係が崩れたと思っている。その後の対応をどうする予定なのか教えてほしい。

空き家の関係、どこの自治体でも苦心している、空き家には環境、景観、防犯の問題もある、耐震性なども調査をして適切な対応策をお願いしたい。

地域づくりの関係で、私も参加しているが、とても2時間半熱心な議論である、この光景を他の町民にも見せたい、情報発信してほしい。

雫石地区に居住する人と共通認識を持つようにしたいし、町の方にも適切なアドバイスをお願いします。

**町長：**インフラについて、町の負担経費について、精度の高いものをとのことですが、今後の精査をしつつやっていき、皆さんにお知らせをしていきたいと思っています。

全体的に高齢者、障害者の説明が多すぎて、若い人たちのテーマが見えないことだと思いますが、若い人達も同様にここに移住できるように展開していくことになっています。

町全体の当初からのプロジェクトとしては、様々な計画の中の事業展開の一つです。

町中の空き家をどうするのかとかも併せて活用も考えていく、経営そのものもしっかりして、資金計画等もしっかりしてご披露して、事業実施に移していきます。

町中の空き店舗について、特にしずく館の問題についてはご迷惑をかけました。

今回の中途での放棄については、管理する町側としても解せないところはありますが、町として今まで色々かかわって協力してきたが、突っ返されたということでは、文章の表現がちょっと酷いなという事で、行政の方から文章の回答として改善してくださいと伝えました。

商工会も反省したと思います。文書をもらっています。

今後、商工会と行政は協働していかなければならないので、失敗があった時はお互い整理してお互い認識し合ったということです。

指定管理者の選考会は終わったようです、町の政策方針会議にかけて、議会の承認を頂いて、次の運用して頂くところを決めていただく予定です。

空き家の関係について、調査は完了しています。手直しが必要なものもある、それをどのように展開するかは検討し進めています。

**地域整備課長：**空き家の件について、実態調査をして約300ほどの空き家があります。

その中で、良好なもの、利活用が可能なもの、危険なものなど分類が完了している。

所有者との協議はこれからですが、協議を進めていきながら、使える空き家については空き家バンク制度の利用促進と併せて取り組んでいく予定です。

**町長：**地域づくり計画で労力を使って作って頂きました、これを各地区の町民に浸透できるように情報発信出来るようにということです。

**企画財政課長：**地域づくり会議での内容は町のHPや広報でお知らせしているが、事務局ではさらにSNS等で広く情報発信をしていくつもりです。様々な媒体をつかって紹介していきたいと考えています。

**町民：**今日町政懇談会のテーマで、資料で説明をした、目標等の説明があった。

コミュニティライフしずくいしの説明があった。

1ページの基本計画の戦略について、基本目標もわかる、人間社会は生業創生が必要と思う、じゃあ仕事はなにか、となるが、かつて雫石町も人口問題は平成元年くらいから始まっている、人口減少が進んできた中で雫石町も頑張ってきたものがあります。

熱水事業をやってきて、ダメになった事業展開の経緯がある。

今度3. 11のあと、やっぱり地熱という話がぶり返して来ている、あの時地熱を進めていれば、雫石町はもっと働く所もあって、農業は発達する、人は集まると言う夢を見ていた。

今度この事業で、少子化が現実になってきた、たとえばリニアコライダーが来るようにしていたが、どこを拠点にするかで変わる。10年前に内閣府が計画した。どんどん進歩している。国際的に雫石町も動かなきゃならないと言うのは当然だと思うがコミュニティライフしづくいは、はっきり言って反対、経過が良くわからない。

総事業費と早稲田大学のほか、何大学がプレゼンしたかわからない、他の事業はなかったのか、会社ができてしまっているの、あれだが…

質問ですが、他のプレゼンは無かったのか、どうしてこれを選んだのか、それとこの鳥瞰図ですが、等高線から見ると岩手山が見えないはずなのですが、何処から見たものですか。

**町民：**付随しての質問ですが、今の方はこの構想には反対だと言っていました。

疑問に思ったこと、私は国民年金で経済的にはとても貧しく暮らしています。月収8万～9万で、私はこの施設に入れるのか。都会のお年寄りには他に選択肢がある、なぜわざわざ雫石町は手を挙げたのか、温泉も無い、多くの雫石町の所得の低いお年寄りは本当に利用できるのか。

この計画書を見ると、あちこちから写真を借りてきている、予備知識の無い人が見れば、いいものではないかと見える。

この構想が出てきたとき、〇〇さん、生活科学運営という会社の社長でした、13年前雫石町南畑にある構想がありました。当時の4人の町長候補者の公開討論会をした、野菊ホールに680人集まった、当時選挙に勝った町長がこの構想の原案を示してくれた、南畑の高齢者の農地付き住宅、その隣に介護施設、そして墓地の三点セットで計画出してきた。これは現実に即していない、当時町立病院をどうするか、福祉と医療の連携について議論が湧き上がってきた時期です。

なのに、社長はなぜこの構想を出してきたか、調べました。

岩手県の出資法人等改革調査特別委員会という10年前の会議録です。平成14年15年生活科学運営が、3, 184万、4, 522万、合計7, 706万の補助金をもらっている。総額で一億5千万以上をコンサルに払っているが、この計画は完全に頓挫した。

この頓挫した構想を出した社長が、新聞では雫石町に住んで、町民の1人として、この福祉構想を実現するために頑張るといっているが・・・  
当時の南畑の人は、もっと私たちのいうことを聞いてほしい、若い芸術家とかに来てほしいと言っていた、お年寄りはこの地には向かないと言っている。

一番の問題は、地元の研究者と地元の人のお話を集める必要があるのです。

今度の構想、町民の声をどのくらい聞きましたか。今さら、また反対したらどうなるのか、とか見識の浅いやり方で可決された。

今、道路のインフラ部分だけでも倍になっている。そんなのは会社づくりの前段階でしっかり検討すべきだった。

社長はあれから10年以上たって進歩がないとは言わないが、町の年寄りや、年寄予備軍の声がどこまで反映されていますか、なぜわざわざ、選択肢の多い都会の人達を、血税を投資して救わなければならないのか、もっと早く構想が浮かびあがった時にやるべきではなかったのか。

途中で、経費が倍になったら企画課長、通常減給ですよ、そんなずさんな計画を最初からするのはもってのほかです。

普通の家を立てるのも、最初にやって立てるのが普通です。

私たちの税金で、なぜ都会のお金のある年寄りを招かねばならないのですか、もっと地元の声聞いて、施設の必要になる高齢者の人達が、この町でいい死に方をするような、そういう福祉の道を探って予算をすることが必要ではないのか。

住田町の木材加工場のように、そんなにいいのなら、コミュニティネット独自でやればいいと思う、いい文言、いい写真で私たち町民をごまかさないでください、ずさんな事業計画でやらないでほしい。

今5,800万の国からの調査費で、けがの治療代として払って終わりにするのか、どんどん膨らむ赤字について、私たちの税金をつぎ込んだら、町の福祉はどうなるのですか、子育ての代金、など福祉は心なんですよ。

社長は、経営ノウハウはあるが、福祉のノウハウは無い人ですよ。

5,800万を返してもいいから、事業をやめるべきだ。

社長がこの席にきて説明できるか、普通の町民に分かりやすく説明できますか。

なぜ町長は、この事業を選んだのですか。

**町民：**今の意見は去年の8月に最初の説明会に言ったが、それでも通ったので進むと思うが、隣の八幡平市も12月にCCRCが竣工した。コンセプトも環境もほぼ同じなので、どうやってそこからさらに雫石町の特徴を持って人を呼べるのか。

もっと質問したいので、時間の延長を求めます。

**町長：**施設展開の中に、町の一人老人や低所得者の方も入れるようにしていきます。

事業のインフラ整備については町でやります。数字は指摘を頂いたとおりです。

今後精査し無駄の無い内容にしていきたいと思えます。

絵に描いたお餅との指摘があるが、各々の施設展開については、事業者を決めてやる予定です。事業者が自分の事業としてやります。

サービス付き高齢者住宅についても町の方も入れるように展開します。

共同生活できる空間が必要ですが、それらもすべて展開する事業者が自分の責任においてやっていきます。ただその土地を貸すためインフラ整備をして、土地代をもらうように計画を立てています。

町が、何十億も投資してやるわけではないです。

会社の中に入っている、コミュニティネットの〇〇さんについては、過去の詳細はわかりませんが、今回の計画に参画してもらった以上には絶対ない、関係する会社の組織としてチェックをするので、そのようなことは無いです。

町がやるのはインフラ整備だけでそれ以外は、今できた会社が責任を持って事業者選択等から事業経営まで進めていく予定です。

プレゼンの関係ですが、早稲田大学が関わった経緯は平成23年度の総合計画からです。早稲田大学は各地で地域づくりをテーマに持った研究室で実績もあります。総合計画が出来た時に町の全体像として総合計画のモデルプロジェクトとして共同研究をしたいと話かけました。

一つの町の地域づくり計画に手掛けることに意欲的だったので、その時に共同研究という形でプロジェクトを立ち上げた、その研究の成果として7つのプロジェクトということで、計画に盛り込めました。そのうちの一つが14ヘクタールの事業計画がありました。

**町民：**議会でも出たと思うが、町は25%以内の出資である、すると町の監査は入らない。町はインフラ整備だけをして、残りはコミュニティライフしずくいしが借金をしたりして事業をやる、私たちの税金は使われないのですね、確認です。

町長はこの会社の社長です、町民は町が誘致した工場（川井林業）の低周波音で夜も眠れない暮らしが続いている。町の施策で困っている、何とかしてくれと頼んでいる、私たちの問題解決はどうなっているのですか

全然変わっていない、3年前から変わっていない、時間がないと、会ってももらえない。

この会社（コミュニティネットしずくいし）に関わっている時間があったら、私たちの苦しみを最初に取り除いてください。

もし（会社に）予算を出すようになったら、このCCRCに賛成した議員と町長とちゃんと責任をもってもらえますか。

絶対町税に対して、インフラ整備の予算以外は出さないと約束できますか

**町長：**会社の会議でも、インフラ整備は町の責任でやらさせていただきます。以外の事業実施には出さないと決めています。

なので、それ以外のところに町税を使うことは想定していません。会社もそういう認

識ですし、出資者もそういう認識です。

ゼネコンみたいなどの丸投げするのではないかと言われたこともあるが、その様な事は絶対ないと認識していただきたい。

**町民：**通常は法人の社長は、金策に回るのが普通です、そのために、違う案件をおろそかにしませんか。

**町長：**しません。

**町民：**川井林業もどうかしてください。

**町長：**社長と話をして書類のとおりの項目を伝えました。

私のほうから住民が困っていると伝えた、ただ企業のこのこともあるので、すべてを突っぱねるわけにはいきません。誘致された企業の存在なので、心していかなければならないと思っています。

ご意見要望については、今後も社長と会って話をします。

**町民：**厳しい指摘を受けているが、それを受け止めて決意表明をしたので、ちゃんとしていてほしい。

**町長：**ありがとうございます。経営ですし、町有地なので、町民の資産を借りてやると肝に銘じて、急ぐとことなくきちっと納得のいく、事業展開を進めていきます。

いままで、冬場に東京から移住体験ということでやった、いま実質14名の方が移住をしたいと検討している、そのうち11名が今年度中に移住したいと言っている。

すでに雫石町に移住している方とも会っていただいた。必ずしも高齢者ではない、若い方で家族、40代もいる70代の方もいます。

**町民：**介護についてお聞きしたいです。

都市部からの移住促進、CCRCについて内閣府の公式サイトに移住の意向調査結果がある。2割が移住希望、8割の方が望んでいないとの結果がある。年齢層が上がれば移住したくないという結果が出ている。

政府の方でも特養の増設や公務員宿舎の有効活用、ショートステイの活用とか、看護の小規模多機能型を増やしたり、古い団地をリフォームして介護付き住宅にした事例がある、これを見れば、移住促進は難しいと思います。

介護の仕事は本当に大変です、介護者の職員の虐待の問題があるが逆も多く職員が利用者から受けるものも多い、セクハラもある、それを考えると介護職員が不足している

のが出ています。

これを考えると、サービスつき高齢者住宅を作った時に、利用者が入ったとして、雇用を図る職員がいなければ何もできない。

責任者が居てもスタッフが居なければ何もならない、介護の立場から言わせてもらおうとこれは博打ではないかと思えます。

先の方が言っていました、町民が入れるところを第1期で作る町民向け高齢者住宅、入所費用を考えると、雫石町の住民の年金とかを考えると、難しいのではないかと思う。

その上でヘルパーなどを使うと もっとかかるんじゃないのか、そうすると月8万円では足りないのではないのかと思えます。

空き家、空き店舗について、各4地区の町民で高齢者がいろいろとコミュニティを作れるような、空き家使って、そこにディサービスやショートステイとか小さいところでもいいので、各4地区に作り集まれる場所を作り、高齢者が住みよい町づくりをしながら雇用が増えるような、共有できるようなスペースを作ってから、14ヘクタールの利用を進めてほしい。

**町長**：現業でやっているの、わかりやすいご提言、当然そのような町づくりをしなければなりません。14ヘクタールに固執せず、雫石町の町なかに地域包括ケアシステムの構築ということで、今年は総合福祉課と包括支援センターを一緒にして、医療と介護看護をまとめて、町の中に構築していこう包括ケアシステム雫石版を作ろうと今やっています。

診療所中に訪問看護ステーションところ、訪問介護看護、訪問診療もやっています。ネットワークを組んで、現在雫石でやっていることを広げていくということです。

国も進めています、包括ケアシステム、特に行政でやっているもので、ワンストップシステムが出来ないか研究をしている最中です、その一連の施設として14ヘクタールでやっていることが、そのシステムに組み込んでいけないかやっている所です。

貴方と同じことを考えているということです。今、建築費や入居費用についても積み上げている最中です

**町民**：14ヘクタールの開発事業者、町かコミュニティライフしずくいしかどちらですか

**町長**：計画全体はコミュニティライフしずくいしがプロデュースし、事業者選定もコミュニティライフしずくいしです。

事業者が目的のための事業を展開していくこととなっています。

**町民**：開発そのものはコミュニティライフしずくいしでいいですか

**町長**：全体の計画の展開を会社が責任をもってやっていく、その中で事業者選定をしてやっていく予定です。

例えば障がい者のグループホームの施設展開については、町の事業者が立候補しております、その事業者計画等をこの会社が精査してから事業実施をしていただくこととなっております。

**町民**：14ヘクタールをコミュニティライフしずくいに貸し出すわけですよね、道路に関して町が資金を出して作るんですが、町税を使うのではなく、14ヘクタールの入口までは町が作り、中はコミュニティライフしずくいが作るのが本当の姿じゃないか。

**町長**：今の道路関連ですが、直線でも曲線でも道路とそのインフラについては町が事業実施をするということです。

この道路は町民も使える道路（町道）として作るので町で作ります。

**町民**：町民の方も通る道路という事で、町がつくるということですね。

開発行為は当事者がやるべきじゃないのかと思う町税を持ちだすべきじゃないと思います。2億5千万に増えたことについても、こと細かく町民に説明しなければ、分からない、納得できないと思う。

**町長**：ご指摘のとおりです。数字的なこと内容も含めて公表していきたいと思います。

**町民**：町政和をもって、雫石をよろしくお願いします。

**総務課長**：激励ありがとうございます。

**町民**：私も、町政モニターやインターネットモニターをさせていただいたが、以前の町長の時代からモニター制度があるが、関わり方が非常に希薄だと感じた。もう少し濃密に職員と仕事ができると思っていましたが、例えば、今日懇談会の段階になって議論されているが、もしこれが議会が通る前にやったら、議会が通ったか疑問です。

物事を決めていく仕組みですが、物事決める前に、町が考えている段階で、いろいろなノウハウを持った町民が沢山いる、そういう方々の意見を反映できるように、プレゼンとかに参加してもらえるような仕組みはできないのか。そうすれば、共同参画になる、町民にも自分たちが参加しているという意識ができると思う。仕組みを考え直してもらえれば、懇談会のこの段階で、いろいろな意見が噴出して困らないと思う

インターネットモニターについて、ネットは世界中の情報がとれるので、広範囲から意見を聞けると思うので、そういうモニター制度、濃密な町民との共同参画という仕組み

組みをつくって行ってほしい。

**町長**：ありがとうございます。方法論がちょっと違うとのご意見。町の審議会や協議会など分野別に担当課が持っている仕組みはありますが、きまったパターンで物事が進んでいくことも多いと思います。ご提案として承ります。

**総務課長**：インターネットモニターの募集については、重要な意見を聞くことと、自由な意見を聞くとありますが、アンケートは回数があるが、随時意見提言をいただければと思います。

各計画を進めるときにはそれぞれ諮問機関という住民の意見を聞いて、答申を受けた形で議会に上げるという仕組みはありますが、それが無い場合など男女共同参画などは仕組みづくりを考えていきたいと思っています。

**町民**：今までも何項目かに渡って提案したのですが、返って来たのは1割くらいでそのあとどうなっているか、分からないので、なし崩しにしないでよろしくをお願いします。

**総務課長**：三か年は調査をしていますが、抜けている部分については再度調査をします。

**町民**：初めて聞いた計画です。ビックリした、本当にできるのかと思いました。4地区計画など、いろいろなことが書かれている。

何年か前に、町長は雫石町を郡上八幡のようにしようと言っていたので、期待していた。

ますます、町が衰退している。このような14ヘクタールができれば、ますます町中に人が来なくなるのか。

足元がぐらついているのに、このような計画を進めていていいのかと感じました。うちにも年寄がいる、先日手術をして帰ってきた、歩けないので、中間施設のようにそれをケアする施設が町の中にあるようにして、みんなが足元を固めてから、次の世代のひとが必要になってからでも遅くないのではないのか。

大手ゼネコンが入らないのならば、誰が設計して誰が建てるのか、地元の人にはそこに入れないのか。町の中には設計屋も土木屋もいるが、どれだけの人がかかわれるのか。

コミュニティライフしずくいが全部やるのであれば、町とは関係なくやるのであれば、そこまで心配しなくてもいいのではないのかと考えてしまう。

なんでこのような計画をするとき、なんで私たちに声をかけなかったのか、出来上がったのを見れば、何も言えないと思ってしまう。

資本金だけで、事業費も何も出てこない、どのように理解していったらいいのでしょうか。

**町長**：この場所の施設事業については、他にもっとやることがあるのではないのか、とのことですが、診療所のかたちとか、健康寿命を高くしようとチームを組んでやっています。

町中の活性化については、平成24年に研究室とワークショップをやって、町の道路について検討をしたこともあります。これが今協議会もできて、いろんな議論のなかで、行政が関わって行かなきゃなりません、窓口は観光商工課で関わっています。

商店街、空き店舗空き家についても、事業を起こしたいとなった時の補助も予算の中に入っているのです。これで全てお金を投入していくわけではないです。

国のやろうとしている事と併せて人口減少の対策として、移住者がいれば町の方が利用できれば、空き家も含めて色んなことを進めようとしています。

内容がきちっと固まり次第、色んなもので告知をしていきます。

今までは、大学との共同研究との発表会で、町民説明会を3回位開催しています。

全て会社で町と関わりなく進めていくわけではないです。町産材を使うなり、地産地消と言う前提で行う予定です。

**町民**：町の業者は参加出来るのですか

**町長**：はい

**町民**：質問状を作ってきたので、質問して質問状を置いて行くので、公開ねがいます。(次ページへ)

(以下質問状)

平成28年 5月20日

零石中央公民館大会議室

町政懇談会

1. まずお願いですがそれぞれの課で策定実施している基本計画などたくさんの計画があります上位の総合計画のどの項目と、つながっているのか体系化したものが見たい、ホームページの各種計画という項目があるが検索しづらい、各課の総合戦略、総合計画で取組む項目も分かりづらいし、一覧で見たい

2. 町長、副町長、企画財政課長へ

総合計画・基本構想・序論第一章4の評価と検証で、総合計画の達成度を評価・検証し評価結果に基づき事務事業の見直し、実施計画へと毎年反映させます。PDCAサイクルを回しますとされています。また、同じく序論第4章の施策の推進では情報公開の徹底と住民参画の推進とあります。このことについて質問します。

政策評価結果は年度終了後6ヶ月後の9月に公表されますが、その結果に基づいたアクションの内容が公開された事はありません。6ヶ月も過ぎてしまった新年度の計画に対して計画・評価の責任者である町長・副町長・また主管課である企画財政課はいつ、どこで、

1. だれが、どのような指示を出していたのか、また実施計画は、どのように見直し、どのようなアクションを取ったのか公開されたことがないと思っていますが、議事録などあるのでしょうか。

24年度から26年度の政策評価の結果が公開されていますが、「施策の評価結果」のコメントには3年連続で農林、観光、商工分野それぞれについて、効果的かつ計画的な事業実施が求められる。「施策の基本方向」の評価結果で「④産業力を高め合い活力みなぎるまち」の項目があります。ここのコメントも3年連続で同じようなコメントが記載されています。五つの施策大綱の中では最も低い判定になっている・・・「農林業振興」、「観光」「商工」「産業間連携」といったすべての分野で有効的な改善を図っていく必要があると。これでPDCAサイクルを回していると言えるのでしょうか？

3. 観光・交流活性化行動計画について質問します。

計画の評価と検証という項目があります。進捗状況を客観的に評価するため、いわゆるPDCAサイクルに基づく計画の進捗管理の仕組みを確立する必要があります。進捗管理の仕組みづくりにあたっては、・・・計画において提示された取り組みの効果や目標値の達成度を評価・検証します。これらの検証作業は、外部の専門家や第三者組織などの意見を踏まえながら「観光推進組織」が行うとあります。

一つめの質問は、前期の計画では公開されたことはありませんが「プロジェクト推進会議」を年2回ほど会議を開催し、効果的な推進を図るとありましたがPDCAは回っていましたでしょうか？

二つめの質問は「二次の行動計画」ではPDCAサイクルの回し方が記載されていませんが、どのように回すのでしょうか？また検証には外部の専門家や第三者組織などの意見を踏まえるとはどのような方々や組織を言っているのか？その意見を求めるのはいつなのでしょう？

三つめの質問は「観光推進組織」を設置し、具体化するアクションプランを策定すると計画推進体制にあります。この新体制の検討・設置が28年度に行われ29年度から施策推進ということは28年度の施策実施、評価・検証は出来ず、空白期間ができるという事でしょうか？上位の総合戦略と整合性が取れていないと思いませんか？

四つめの質問は、PDCAサイクルが適正で課題が明確になっているのであれば、「観光推進組織」は計画策定当初から検討され27年度中に設置を決めて置くべきではなかったのでしょうか？設置に1年もかかりそれからアクションプランを策定する様な行動計画のどの項目も実際やるとすれば大変な労力と時間が掛かると思われます。評価が最低とまらないためにも、地域づくり推進室のように適正な要員配置が必要ではないのでしょうか？

4. 第三セクターである（株）しずくいしの経営状況が公開されています。道の駅は観光・農業・商業等の産業振興の拠点として整備されましたが、経営状況は21年からずーと経常損益をプラスにできていません。産業振興のためにも、ここの改善を総合戦力、総合計画に盛り込むべきではないのでしょうか？

5・総合戦略 CCRC について

雫石町の CCRC の計画スケジュールが見えませんが、昨年12月に4年の歳月かけて、隣の八幡平市に CCRC の施設が竣工しましたが、岩手山を望む景色、観光地や、温泉施設どの環境条件、コンセプトもほぼ同じで県内外の自治体から注目を浴びているそうです。雫石町の独自性がなくなってしまったよう気がします。雫石町も民間企業を設立してスタートした訳ですが、29年度の移住者目標値は50名です。随意契約した調査依頼の結果を公表してほしいし、28年度中に施設が竣工するということですから、28年度に募集活動をするでしょうから移住希望者数を目標値に入れるべきではないでしょうか？

6・地域づくり推進室が出来たという事は、商工会の TMO 事務局はなくなったという事でしょうか？